

開催報告

個を活かす組織経営改革シンポジウム～九州から発信する、「共感」でつなぐ個と組織の成長～

- 個人と組織の関係は、従来の雇用形態から、柔軟な働き方や人材流動化を前提とした「選び、選ばれる」オープンな関係へと変わりつつある。
- 九州経済産業局・一般財団法人九州オープンイノベーションセンターでは、選ばれる企業となるために必要な方策について、仕事における“やりがい”に着目した調査を実施。本シンポジウムでは、個人の仕事の“やりがい”向上の実現を企業の成長に活かすための組織経営改革に取り組む企業事例等を紹介した。

◆ 開催概要

日時	2026年3月11日（水）14:00～16:00
形式	オンライン（Microsoft Teams）
主催	九州経済産業局 一般財団法人九州オープンイノベーションセンター
参加人数	78名
プログラム	14:00～14:05 開会挨拶
	14:05～14:35 基調講演 “個”を活かす組織が成長する ～九州企業が今取り組むべき「働きがい経営」～ 株式会社働きがいのある会社研究所 代表取締役社長 荒川 陽子 氏
	14:35～14:50 個を活かす組織経営改革レポートについて 公益財団法人九州経済調査協会 永野 敦嗣 氏
	14:50～15:10 事例紹介 株式会社現場サポート 代表取締役会長 福留 進一 氏 株式会社シマブン 取締役CSO 兼 海外担当 島 英雄 氏
	15:10～15:55 パネルディスカッション
	15:55～16:00 閉会挨拶

◆ シンポジウムの様子



基調講演（荒川氏）

調査報告（永野氏）



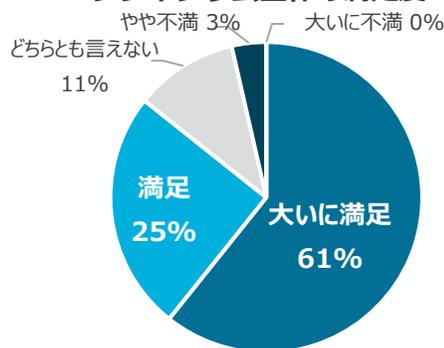
事例紹介（福留氏）

事例紹介（島氏）

パネルディスカッション

◆ アンケート結果

シンポジウム全体の満足度



- 働きやすい職場環境は整えたのに、離職する人がいるのはなぜかと考えた時に、育成力不足を始め、いくつか課題が見つかり＝**働き甲斐を伸ばす必要があると感じているところにドンピシャなテーマ**だった。
- 実証的な「働きがい」を生み出す効果的な取組が明確、かつロジカルに示されていて、**即、実践できる内容**だった。
- 具体的な各社の事例をお聞きでき、「個」を活かす、という言葉がどうしたことなのかを学ぶことができた。
- 具体例を交えた話で、**自社にどう落とし込むかが想像しやすかった**。
- 実践的で現実に即した話**であり、知恵が詰まっていた。
- 現在の社会的環境変化によくマッチしたテーマ**で、**企業共通の課題**だと感じ、課題に対応するための多くの示唆をいただいた。